

14130 社会保障政策

オリエンテーション

4月6日(水)

4月11日(月)

【教科書】

- ・堀勝洋編『社会保障読本(第3版)』, 東洋経済新報社
授業にのぞむ前に読み, 基礎知識を身に付ける目的で使用する

【参考書】

- ・岩村正彦・菊池馨実編『目で見ると社会保障法教材(第3版)』, 有斐閣
- ・小塩隆士『社会保障の経済学(第3版)』, 日本評論社
- ・Sherman Folland, Allen C. Goodman, and Miron Stano, The Economics of Health and Health Care, 4th ed., Prentice Hall
- ・以上を, 講義内容に合わせて, 適宜使用参照する。
- ・その他, 必要な文献は適宜, 指示する。

【科目の性質】

- ・経済政策コースの科目として、経済分析の視点を重視する。政策についての抽象的思考に加え、制度・データの実理解、現在の政策課題にも触れる。

【他の授業科目との関係】

- ・「ミクロ経済学基礎」または「ミクロ経済学」の知識を前提とする。
- ・若干の数式の展開はあるが、多用しない。

【成績評価の方法】

- ・期末試験(45%)、レポート(3回、各15%)、授業での発表・平常点(10%)で評価する(と予告してあるが、若干の変更の可能性あり)。

【授業の目的】

(例) 総論でのねらい

- ・一般目標
福祉国家における社会保障の役割を学ぶ
- ・到達目標
基本的人権と社会権の位置付けを説明できる
ベバリッジ報告の内容を説明できる
社会保障制度審議会勧告の内容を説明できる
所得保障、公的扶助を説明できる
温情主義、平等主義を説明できる

社会保障とは

前史

- ・救貧法 イギリス
- ・社会保険 ドイツ・ビスマルク
- 「Beveridge Report」(1942年) 社会保障(Social Security)
- 【参照】堀(第1～3章), 岩村・菊池(I・1)

「社会保障とは何か」をつかむための問い

「わが国では社会保障にいくら支出しているか？」

社会保障の骨格

- ・所得保障
- ・基礎的サービス

社会保障政策・第1・2回

5

社会保障は「政策」=「政府による介入」

「なぜ社会保障が必要？」

- ・そこには「市場の失敗」がある。

経済学の考え方(例・Mankiwの10原理)

#6 Markets are usually a good way to organize economic activity

#7 Governments can sometimes improve market outcomes

- ・混合経済での市場と政府の役割はどのようにして決まるのか？

市場が機能すれば, 効率的な資源配分が達成される。
市場は失敗することもある(市場がうまく機能しない)。
市場の失敗があれば, 政府がとってかわるべきか？
かならずしもそうでない。政府も失敗することがある。

社会保障政策・第1・2回

6

政府の出番は、2つの条件が満たされるとき。

- a.市場が失敗している。
- b.政府が市場よりもよい成果を出せる。
(政府の失敗がないor小さい)

市場の失敗 > 政府の失敗

政府の役割は、つねに市場と政府の相対評価で決まる。

社会保障のあるべき姿を決める問い

- ・「どのような市場の失敗？」
- ・「民間保険ではだめなのか？」
- ・「医療サービスは平等が望ましいのか？」

「市場の失敗」

- 1 不完全競争
- 2 公共財
- 3 外部性
- 4 不完備市場
- 5 不完全情報
- 6 失業, マクロ経済的攪乱

「政府の失敗」

政府が全知全能ではない理由

- 1 情報の制約
- 2 政策手段の制約
- 3 官僚制の弊害
- 4 政治過程の弊害

[参照] スティグリック, 『公共経済学』, 東洋経済新報社